



履修案内

GENERAL INFORMATION
& COURSE DESCRIPTION

2025年度(令和7年度)入学生適用

For the students admitted in 2025



東京農工大学大学院連合農学研究科

UNITED GRADUATE SCHOOL OF AGRICULTURAL SCIENCE
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND TECHNOLOGY



Contents

I	目次	1
	Contents	
II	連合農学研究科の教育の特色	3
	Characteristics of Education for United Graduate School of Agricultural Science	
III	修了要件および履修について	4
	Academic Requirements for Completing the Courses	
IV	ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、カリキュラムマップ／フローチャート	13
	Diploma Policy, Curriculum Policy, Curriculum Map, Flowchart	
V	教育課程表	26
	Curriculums	
VI	SIRIUS 東京農工大学 全学教育システム	30
	SIRIUS TUAT Student Information System	
VII	構成大学の地図	32
	Map of Cooperating Universities	



Ⅱ 連合農学研究科の教育の特色

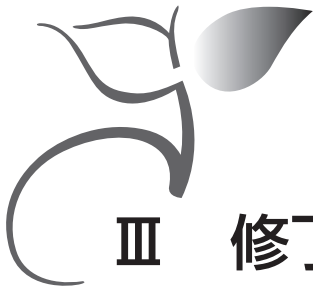
Characteristics of Education for United Graduate School of Agricultural Science

教育の特色

博士課程の3年間を通じて、学生に自己の専門に関する深い知識を修得させる。さらに、『農学』はバイオサイエンスの重要な一翼を担う実学的応用科学であることに鑑み、農学に関する、広い視野に立った知識を修得させることに重点をおく。大学教員としての教育研究後継者を養成するのみでなく、広く国内や国際的な試験研究機関あるいは民間企業において、農学の発展に貢献することができる、創造性豊かで応用力に富んだ研究者の養成を行っている。

Characteristics of Education

The educational purpose of the three year Doctoral Course following Master's Course is to train students to acquire thorough knowledge in their field of study. The course also aims at helping them to gain a deeper and broader knowledge of "agricultural sciences", which is a practical branch of learning and plays a crucial role in bioscience. It is crucial for the researchers in applied science to broaden their point of view. The goal is to train the students not only to be successors for university academic staff, but also to nurture creative and pragmatic researchers at institutes and private enterprises as well as contribute to the development of agricultural sciences.



Ⅲ 修了要件および履修について

Academic Requirements for Completing the Courses

学位論文審査申請時までには必修科目9.5単位以上、選択科目2.5単位以上、合計12単位以上修得することが必要です。

1. 必修科目

下記（１）、（２）の必修科目を修得すると、必要単位数（9.5単位）を満たします。

（１）大講座ごとの必修科目：8.5単位

①研究交流科目・合同セミナー：0.5単位

4月入学生は2年次に、10月入学生は1年次に行われる大講座ごとに開講されるセミナーで、7月～9月の間に実施されます。詳細は後日、主指導教員から通知があります。

②論文研究等・特別演習（2単位）・特別研究（6単位）：8単位

1年次に主指導教員の元で実施される各々が所属する研究室での研究、調査等（講義が開かれるわけではありません）。

（２）研究科共通科目・総合農学概論：1単位

（総合農学概論ⅠもしくはⅡのいずれか1つを履修してください）

毎年6月（前期：概論Ⅰ）及び11月（後期：概論Ⅱ）に3日間の連続集中講義方式で行われます。出席状況及びレポート提出により成績評価がつきます。

〔2025年の日程〕 概論Ⅰ：前期（6月18日～20日）日本語による講義
概論Ⅱ：後期（11月19日～21日）英語による講義

2. 選択科目 (2.5単位以上)

選択科目は下記2.(1)～(7)から自由に組み合わせて2.5単位以上を修得してください。(留学生特別プログラム学生は必修、選択必修科目2単位を含めて2.5単位以上を修得してください。)

(1) 研究科共通科目・コミュニケーション演習(英語): 1単位

配置大学ごとに15講義開講される、英語でのコミュニケーションを上達させることを目的とした講義。茨城大学、宇都宮大学、東京農工大学とも後期に行われます。詳細は別途通知します。

(2) 研究科共通科目・海外フィールド実習: 1単位

全学年の学生が対象。アジア地域等の姉妹校等で2週間程度、フィールド調査を体験します。4月に希望者を募集し、書類選考の上、当該年度の参加者を決定します。希望者が多い場合は2年次の学生が優先されます。

実施期間: 7月～翌年2月までのうち2週間程度

(3) 研究科共通科目・海外短期集中コース: 1単位

全学年の学生が対象。カリフォルニア大学デービス校での共同プログラム等に参加し、国際的な討論ができる素養を身につけることを目的としています。4月に希望者を募集し、書類選考により選出されます。

実施期間: 7月～12月までの出発で3ヶ月程度

(4) 専門分野科目・特論: 1講義 0.5単位

連合農学研究科の各教員が専門的なテーマについて、1日の集中講義を行います。他専攻の科目も複数履修可能ですので、ご自分の所属する専攻にとらわれず履修してください。

(5) イノベーション推進特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ: 各1単位

イノベーション実現をリードできる高度人材養成を目標として、企画立案能力、問題解決能力、研究推進力、社会力を広く展開するための実践的な授業を行います。当該授業では、博士課程学生として実践する、学術論文等に自分の研究成果が掲載されるまでに至るプロセスとして必要となる、課題探求力、研究管理能力、コミュニケーション力、表現力などの重要性について深く理解すると共に、洞察力、交渉力、社会力、熱意など、目標達成に必要となる力について学びます。また、研究成果を社会的に応用、実現するために必須となる、顧客志向、経営マインド、多様な価値観の理解力、セルフブランディング、プレゼンテーション力、リーダーシップなど、実社会で必要となる要素について、講義およびワークショップを通して実践的に学ぶ機会を創出します。

*留学生特別プログラムの学生はⅣ・Ⅴが選択必修科目。

(6) グローバル特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ: 1講義 0.5単位

英語での開講。留学生特別プログラム学生は選択必修科目。プログラム生以外の学生も履修できます。留学生特別プログラム学生は主指導教員による講義を必ず履修してください。

(7) インターンシップ: 1単位

留学生特別プログラム学生は必修科目。

(8) 連合農学研究科特別講義: 1単位

外部の講師等を招いて行われる講義となります。毎年開講される講義ではありません。詳細については開講時にお知らせいたします。

3. 修了要件

(修了に必要な最低修得単位数)

対象学生	条件	科目	単位	必要単位数	計
下記以外の学生	必修	合同セミナー	0.5	9.5	12
		論文研究等・特別演習	2		
		論文研究等・特別研究	6		
		総合農学概論ⅠまたはⅡ	1		
	選択	コミュニケーション演習	1	自由に組み合わせて 2.5単位以上	
		海外フィールド実習	1		
		海外短期集中コース	1		
		イノベーション推進特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	各1		
		特論	各0.5		
		グローバル特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	各0.5		
インターンシップ		1			
連合農学研究科特別講義（ ）		1			
留学生特別プログラム学生	必修	合同セミナー	0.5	9.5	12
		論文研究等・特別演習	2		
		論文研究等・特別研究	6		
		総合農学概論ⅠまたはⅡ	1		
	選択必修	インターンシップ	1	インターンシップ、 グローバル特論1科目を含め、2単位以上	
		グローバル特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	各0.5		
		イノベーション推進特別講義Ⅳ・Ⅴ	各1		
	選択	コミュニケーション演習	1	0.5単位以上	
		海外フィールド実習	1		
		海外短期集中コース	1		
		イノベーション推進特別講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1		
		特論	各0.5		
		連合農学研究科特別講義（ ）	1		

4. 重複履修

一度受講して単位を取得した科目及び講義は再度履修することができません(重複履修は不可)。ただし聴講することは可能です。

5. 履修登録

履修登録は東京農工大学で運用している学術情報システム『SIRIUS(シリウス)』及び履修登録用紙で行います。

SIRIUSの操作手順は履修案内の巻末に掲載されています。

- * 履修登録期間は学外からもSIRIUSで履修登録が可能です。
 - * 履修登録は、学期ごとに設定されている履修登録期間内に行ってください。履修登録の時期、講義の詳細、講義概要(シラバス)等については、連合農学研究科のウェブサイトでお知らせします。
- なお講義の日時や場所が変更になる場合は、電子メールで連絡しますので、自分の電子メールアドレス(TUAT-ID@st.go.tuat.ac.jp)を常に確認できるようにしておいてください。

〈連合農学研究科ウェブサイト(履修関係)〉

<https://www.tuat.ac.jp/uni-grad/rishu/index.html>



連合農学研究科
履修関係

6. 成績

前期後期の成績評価はそれぞれ9月と3月の中旬頃に学務情報システム SIRIUS で開示されます。ただし、成績は東京農工大学、茨城大学、宇都宮大学のキャンパスネットワーク下で SIRIUS にアクセスした場合でしか表示されません。

成績評価は「S」（90～100点）、「A」（80～89点）、「B」（70～79点）、「C」（60～69点）、「D」（0～59点）の5段階評価で行われます。評価が「S」、「A」、「B」、「C」を合格とし、単位を付与します。「D」を不合格とし、成績表（SIRIUS）には表示されますが、成績証明書には表示されません。

成績評価に対して疑問がある場合、申し出をすることができます。

成績表および成績証明書記載事項の対応表

評価	評点	達成状況	成績表への表示	成績証明書への表示
合格	S	100～90点	到達基準を超えた成果を上げている。	あり
	A	89～80点	到達基準を十分達成している。	あり
	B	79～70点	到達基準を達成している。	あり
	C	69～60点	到達基準をおおむね達成している。	あり
不合格	D	59～0点	到達基準に達していない。	なし
認定	認定	評価を認定したもの（入学前既修得単位認定等）	あり	あり

7. 学位論文

（1）学位論文審査申請書の提出には、以下の要件を満たしていることが必要です。

- ① 必須科目9.5単位以上、選択科目2.5単位以上、合計12単位以上を取得していること。
- ② レフェリー制の確立されている学術雑誌に論文（但し、筆頭著者論文に限る。）が1編以上掲載されたまたは受理されたものとされていること。なお当該論文は、学位論文の一部を構成するものであること。

（2）最終試験について

学位論文を提出した者について、学位論文審査後に最終試験を実施します。

8. 修業年限短縮（早期修了）

特に優れた業績を上げた学生については、修士課程又は博士前期課程の在学期間（2年を限度とする）を含めて3年以上在学すれば修業年限短縮（早期修了）を申請することができます。

「特に優れた業績」とは、学位論文の基礎となる学術論文をレフェリー制の確立されている学術雑誌に掲載されたものまたは受理されたものとして3編以上（但し、筆頭著者論文に限る。）を有している場合をいいます。

申請期限は、3月修了を希望する場合は前年の9月末日まで、9月修了を希望する場合は同年の3月末日までとなります。



III Academic Requirements for Completing the Courses

Students are required to acquire at least 12 credits in total (Required subjects 9.5 credits or more and elective subjects 2.5 credits or more) before applying for thesis evaluation.

1. Required subjects

To satisfy required number of credits (9.5) for Required subjects, take (1) and (2) below.

(1) Required subjects of your Major Chair : 8.5 credits

① Joint Seminar : 0.5 credits

This seminar will be held in the second grade for students admitted in April, and in the first grade for students admitted in October. It will be held around July – September. Details will be informed from your supervisor.

② Advanced Seminar (2 credits) and Advanced Research (6 credits) : 8 credits

These subjects will be held on the first grade under the supervisor's instruction. They comprise your research, seminar attendance and presentations in your laboratory. There is no actual lecture.

(2) Common Subject · Comprehensive Agriculture Science: 1 credit

(Comprehensive Agricultural Science I or II is required)

Comprehensive Agricultural Science is a 3 consecutive-day lecture held in June and November. It is evaluated by attending lectures and submitting reports.

(2025 Schedule) Comprehensive I (Japanese) : Spring semester (June 18–20)

Comprehensive II (English) : Fall semester (November 19–21)

2. Elective subjects

- 2.5 or more credits must be earned from elective subjects in any combination of (1) to (7) below.

- International students on the Special Program have to earn 2.5 credits or more including 2 credits from Required (Elective) Subjects.

(1) English Seminar on Academic Communications (in English): 1 credit

This course aims at improving the communication skills in English. It will be held in fall semester at each university.

(2) Field Research Abroad: 1 credit

This course is open for all students. Participants are sent to sister universities in Asia and experience field survey for two weeks. The application for this course will be in April and participants will be selected by screening. In case the number of applicants exceeds the quota, second grade students will be given the priority.

Period : 2 weeks in between July and February following year

(3) Overseas Intensive Short-term Course: 1 credit

This course is open for all students. Participants will attend the cooperative program with other universities such as University of California, Davis. The aim of this course is to acquire discussion skills in the international field.

Period : 3 months starting between July and December

(4) Major Field : 0.5 credit per subject

Each faculty member will give a one-day intensive lecture on a specialized topic. Students can take multiple courses from other majors, so please take courses regardless of your own major.

(5) Special Lecture for Innovation Advancement I , II , III, IV and V: 1 credit per subject

This is a practical class to develop a planning ability, problem solving skills, passion for research, and social skills. It is held aiming at the development of advanced personnel that can lead innovative achievements. Doctoral students will practice regarding the importance of task exploration capability, research management ability, communication skill, expressiveness, and other points required for the process leading to the publication of the students' research results in academic papers. In addition, they will also have a deeper understanding of/and the power needed for achieving their goals such as insight, negotiation skills, social skills and enthusiasm. Through the lecture and the workshop on necessary elements in real society, such as self-branding, presentation power and customer orientation, management awareness and various other values for the current world.

*International students on the special program should take IV and/or V.

(6) Global Special Seminar I , II , III, IV and V: 0.5 credit per subject

Required subjects for international students on the special program.

Students on the special program must take one lecture from their main supervisor.

These subjects are open for all students.

(7) Internship: 1 credit

This is a required subject for international students on the special program.

(8) UGSAS Special Lecture: 1 credit

A lecture is given by invited external lecturers and others. This lecture is not held every year. Details will be provided when the course starts.

3. Required credits for completing Ph.D. course

Students other than International students on the special program

Subject		Credit	Required credit	Total
●Required			9.5	12
Joint Seminar	0.5			
Advanced Seminar	2			
Advanced Research	6			
Comprehensive Agricultural Science I or II	1			
●Elective			2.5 credits or more in total	
English Seminar on Academic Communications (in English)	1			
Field Research Abroad	1			
Overseas Intensive Short-term Course	1			
Special Lecture for Innovation Advancement I , II , III, IV and V	1 per subject			
Major Field Subject	0.5 per subject			
Global Special Seminar I , II , III, IV and V	0.5 per subject			
Internship	1			
UGSAS Special Lecture ()	1			

International students on the special program

Subject		Credit	Required credit	Total
●Required			9.5	12
Joint Seminar	0.5			
Advanced Seminar	2			
Advanced Research	6			
Comprehensive Agricultural Science I or II	1			
●Required (Elective)			2 credits or more in total including Internship, one of Global Special Seminar	
Internship	1			
Global Special Seminar I , II, III, IV and V	0.5 per subject			
Special Lecture for Innovation Advancement IV and V	1 per subject			
●Elective			0.5 credit	
English Seminar on Academic Communications (in English)	1			
Field Research Abroad	1			
Overseas Intensive Short-term Course	1			
Special Lecture for Innovation Advancement I , II, III	1 per subject			
Major field subject	0.5 per subject			
UGSAS Special Lecture ()	1			

4. Duplicate Courses

Courses and lectures that have been attended and credited once cannot be attended again. However, it is possible to audit these lectures.

5. Course Registration

Course registration procedures can be completed by online registration through SIRIUS (Academic Affairs System, the network system operated in TUAT) and by submitting registration forms. Please see the latter pages on this booklet for the instruction of SIRIUS.

*Students need to register courses within a designated course registration period for each semester. SIRIUS can be accessed from outside of universities during the course registration period.

*Information regarding the course registration, course detail, course syllabus will be announced on United Graduate School web site. If there are any changes such as time, date or place of lectures, we will inform you by email. Therefore, please make sure to check your E-Mail (TUAT-ID@st.go.tuat.ac.jp) frequently.

<United Graduate School web site (Courses)>
<https://www.tuat.ac.jp/uni-grad/en/rishu/index.html>



6. Grading

Grades will be disclosed on SIRIUS in mid-September for Spring semester and mid-March for Fall semester under the campus network at TUAT, Ibaraki university, Utsunomiya university.

Grades are divided into five levels ; S, A, B, C and D. All grades above that of "C" are pass and a designated number of credits will be awarded. Grade D is fail. Subjects failed (grade D) will not appeared on the academic transcript.

Students can apply for an explanation as to the reasoning behind their grades.

Grading Scale

Evaluation		Numeric Equivalent	Accomplishment	Display on SIRIUS	Display on Transcript
PASS	S	100~90	Outstanding	○	○
	A	89~80	Excellent	○	○
	B	79~70	Good	○	○
	C	69~60	Satisfactory	○	○
Failure	D	59~ 0	Fail	○	×
Completed	Completed	recognition of credit (Credit transferred without grading)		○	○

7. Degree Conferral

(1) Students must fulfill the following requirements before submitting application of dissertation review:

a: Acquired at least total of 12 credits including 9.5 or more from Required subjects and 2.5 or more from Elective subjects.

b: At least one paper published or accepted to be published in a peer-reviewed or refereed academic journal or similar.

Please ask your supervisor for more information.

(2) Final Examination

There will be a final examination after evaluation of the dissertation.

8. Shortening the duration of study (Early Graduation)

Students who achieved outstanding performance and also have enrolled for more than 3 years including the period in Master's Program (maximum 2 years), is eligible to apply for the Early Graduation.

"Outstanding Performance" means at least 3 papers (the first author) which form the base of the doctoral thesis were published or accepted to be published in a in peer-reviewed or refereed academic journal or similar.

The application deadline is the last weekday of September in the previous year for students who wish to complete in March, and the last weekday of March for students who wish to complete in September.



Ⅳ ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、カリキュラムマップ/フローチャート

Diploma Policy, Curriculum Policy, Curriculum Map, Flowchart

連合農学研究科 ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

連合農学研究科は、ひとつの大学のみでは完備することを期待しがたい分野を相互に補完しつつ、人類の生活向上のために必須の生物資源開発関連科学の大部分を占める農学の進歩発展のために資することはもちろん、生物関連産業の発展にも貢献することができる、創造性豊で応用力に富んだ研究者を養成することを基本理念とする。

上記理念に基づき、生物生産科学専攻では、植物生産科学、動物生産科学、生物制御科学に関する以下の能力を身につけるとともに、所定の単位数を修得し、かつ、論文審査及び最終試験に合格した者に、学位を授与する。

観点	各専攻共通
A	(1) 農学専門領域における最先端の知識・技術を学ぶことにより、当該専門分野における独立した研究者・創造的技術者としての高度の専門能力を身につけている。 (2) 学会、合同セミナー等における発表、討論を通じて、専門領域における自己の研究が占める位置を理解し、将来展望を見通す力を身につけている。 (3) 博士学位論文を構成する研究業績として、一定の基準に適合する学術誌等への研究論文の発表を通して、研究課題の立案から成果の公表に至る一連の研究推進プロセスを完遂できる確かな実力を身につけている。
B	(4) 応用総合科学としての農学の特性を活かして、多面的な視点から取り組むべき社会的課題を提起し、その課題解決にむけた多様な研究活動を企画推進できる柔軟な応用力を身につけている。 (5) 先端研究に関する知識・経験に偏することなく、理系・文系にまたがる論理的能力や表現力を養い、高度な専門的知識人にふさわしい識見を身につけている。
C	(6) よき社会人として常に周囲から信頼され、自ら協力関係を拡大しつつ業務を推進することができる、豊かな「社会力」を身につけている。 (7) 海外を含む組織・社会におけるリーダーとしての活躍に必要な、各種リテラシーや総合的マネジメント能力を中心とした実践的指導力を身につけている。
D	(8) 高度な専門的能力、広い視野と高い識見、豊かな社会力と指導力を不断に鍛え、いっそう高度な学びの動機付けを自発的に推進する姿勢を身につけている。 (9) 国内・国際社会において自らの専門分野のおかれた位置、その分野に求められる社会的ニーズを、相対的な視点から常に見直し、他分野との関連性を踏まえて、課題探求と自己変革にチャレンジし続ける自己研鑽姿勢を身につけている。

※観点 A～D は以下のとおりです。

観点 A 高度な農学専門能力

観点 B 広範な応用専門能力と見識

観点 C 豊かな社会力を土台にした実践的指導力

観点 D 持続的な自己形成能力

各専攻のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーは以下の URL に掲載されています。

<https://www.tuat.ac.jp/outline/overview/policy/rengounougaku/>





連合農学研究科（共通）

カリキュラム・マップ

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

ディプロマ・ポリシー	
観点（A）	① 農学専門領域における最先端の知識・技術を学ぶことにより、当該専門分野における独立した研究者・創造的技術者としての高度の専門能力を身につけている。 ② 学会、合同セミナー等における発表、討論を通じて、専門領域における自己の研究のしめる位置を理解し、将来展望を見通す力を身につけている。 ③ 博士学位論文を構成する研究業績として、一定の基準に適合する学術誌等への研究論文の発表を通して、研究課題の立案から成果の公表に至る一連の研究推進プロセスを完遂できる確かな実力を身につけている。
観点（B）	④ 応用総合科学としての農学の特性を活かして、多面的な視点から取り組むべき社会的課題を提起し、その課題解決にむけた多様な研究活動を企画推進できる柔軟な応用力を身につけている。 ⑤ 先端研究に関する知識・経験に偏することなく、理系・文系にまたがる論理的能力や表現力を養い、高度な専門的知識人にふさわしい識見を身につけている。
観点（C）	⑥ よき社会人として常に周囲から信頼され、自ら協力関係を拡大しつつ業務を推進することができる、豊かな「社会力」を身につけている。 ⑦ 海外を含む組織・社会におけるリーダーとしての活躍に必要な、各種リテラシーや総合的マネジメント能力を中心とした実践的指導力を身につけている。
観点（D）	⑧ 高度な専門的能力、広い視野と高い識見、豊かな社会力と指導力を不断に鍛え、いっそう高度な学びの動機付けを自発的に推進する姿勢を身につけている。 ⑨ 国内・国際社会において自らの専門分野のおかれた位置、求められる社会的ニーズを相対的な視点から常に見直し、他分野との関連性を踏まえて、課題探求と自己変革にチャレンジし続ける自己研鑽能力を身につけている。

カリキュラム・チャート

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		●		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		●		
	コミュニケーション演習（英語）		●		
	海外フィールド実習			●	●
	海外短期集中コース			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	インターンシップ			●	
	連合農学研究科特別講義（ ）				●
外国人留学生 特別プログラム 科目	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	インターンシップ			●	
研究交流科目	合同セミナー	●			
専門分野科目	特論	●			●
論文・研究等	特別演習	●			
	特別研究	●		●	

カリキュラム・フローチャート

観点	1 年次	2 年次	3 年次
A	グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ 特論 特別演習 特別研究	合同セミナー	
B	総合農学概論Ⅰ（日本語） 総合農学概論Ⅱ（英語） コミュニケーション演習（英語） グリーンクリーン食料生産特論Ⅰ グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ		
C	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ インターンシップ		
D	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ 特論 連合農学研究科特別講義（ ）		



生物生産科学専攻



カリキュラム・マップ

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

カリキュラム・チャート

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		●		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		●		
	コミュニケーション演習（英語）		●		
	海外フィールド実習			●	●
	海外短期集中コース			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	インターンシップ			●	
	連合農学研究科特別講義（ ）				●
研究交流科目	植物生産科学合同セミナー	●			
	動物生産科学合同セミナー	●			
	生物制御科学合同セミナー	●			
専門分野科目	植物機能形態学特論	●			
	植物生産生理学特論	●			●
	植物遺伝育種学特論	●			●
	植物生産環境学特論	●			●
	動物形態機能学特論	●			●
	動物栄養飼料学特論	●			●
	動物育種繁殖学特論	●			●
	動物衛生管理学特論	●			●
	応用昆虫学特論	●			●
	植物病理学特論	●			●
	昆虫生理生化学特論	●			●
	植物制御科学特論	●			●
	生物制御化学特論	●			●
論文・研究等	植物生産科学特別演習	●			
	植物生産科学特別研究	●		●	
	動物生産科学特別演習	●			
	動物生産科学特別研究	●		●	
	生物制御科学特別演習	●			
	生物制御科学特別研究	●		●	
外国人留学生 特別プログラム 科目	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	インターンシップ			●	

カリキュラム・フローチャート

観点	1 年次	2 年次	3 年次
A	植物機能形態学特論 植物生産生理学特論 植物遺伝育種学特論 植物生産環境学特論 植物生産科学特別演習 植物生産科学特別研究	植物生産科学合同セミナー 動物生産科学合同セミナー 生物制御科学合同セミナー	
	動物形態機能学特論 動物栄養飼料学特論 動物育種繁殖学特論 動物衛生管理学特論 動物生産科学特別演習 動物生産科学特別研究		
	応用昆虫学特論 植物病理学特論 昆虫生理生化学特論 植物制御科学特論 生物制御化学特論 生物制御科学特別演習 生物制御科学特別研究		
	グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ		
B	総合農学概論Ⅰ（日本語） 総合農学概論Ⅱ（英語） コミュニケーション演習（英語）		
C	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ インターンシップ		
D	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ		
	植物機能形態学特論 植物生産生理学特論 植物遺伝育種学特論 植物生産環境学特論		
	動物形態機能学特論 動物栄養飼料学特論 動物育種繁殖学特論 動物衛生管理学特論		
	応用昆虫学特論 植物病理学特論 昆虫生理生化学特論 植物制御科学特論 生物制御化学特論		
	グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ 連合農学研究科特別講義（ ）		



応用生命科学専攻



カリキュラム・マップ

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

カリキュラム・チャート

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		●		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		●		
	コミュニケーション演習（英語）		●		
	海外フィールド実習			●	●
	海外短期集中コース			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	インターンシップ			●	
	連合農学研究科特別講義（ ）				●
研究交流科目	応用生物化学合同セミナー	●			
	生物機能化学合同セミナー	●			
専門分野科目	分子生理学特論	●			●
	先端生命科学特論	●			●
	細胞工学特論	●			●
	微生物利用学特論	●			●
	生体物質科学特論	●			●
	食品機能科学特論	●			●
	生物活性物質化学特論	●			●
	生体分子解析学特論	●			●
論文・研究等	応用生物化学特別演習	●			
	応用生物化学特別研究	●			
	生物機能化学特別演習	●			
	生物機能化学特別研究	●			
外国人留学生 特別プログラム 科目	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	インターンシップ			●	

カリキュラム・フローチャート

観点	1 年次	2 年次	3 年次
A	分子生理学特論	応用生物化学合同セミナー	
	先端生命科学特論	生物機能化学合同セミナー	
	細胞工学特論		
	微生物利用学特論		
	応用生物化学特別演習		
	応用生物化学特別研究		
	生体物質科学特論		
	食品機能科学特論		
	生物活性物質化学特論		
	生体分子解析学特論		
生物機能化学特別演習			
生物機能化学特別研究			
	グローバル特論Ⅰ		
	グローバル特論Ⅱ		
	グローバル特論Ⅲ		
	グローバル特論Ⅳ		
	グローバル特論Ⅴ		
B	総合農学概論Ⅰ（日本語）		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		
	コミュニケーション演習（英語）		
C	海外フィールド実習		
	海外短期集中コース		
	イノベーション推進特別講義Ⅰ		
	イノベーション推進特別講義Ⅱ		
	イノベーション推進特別講義Ⅲ		
	イノベーション推進特別講義Ⅳ		
	イノベーション推進特別講義Ⅴ		
インターンシップ			
	海外フィールド実習		
	海外短期集中コース		
	イノベーション推進特別講義Ⅰ		
	イノベーション推進特別講義Ⅱ		
	イノベーション推進特別講義Ⅲ		
	イノベーション推進特別講義Ⅳ		
	イノベーション推進特別講義Ⅴ		
	分子生理学特論		
	先端生命科学特論		
	細胞工学特論		
D	微生物利用学特論		
	生体物質科学特論		
	食品機能科学特論		
	生物活性物質化学特論		
	生体分子解析学特論		
	グローバル特論Ⅰ		
	グローバル特論Ⅱ		
	グローバル特論Ⅲ		
	グローバル特論Ⅳ		
	グローバル特論Ⅴ		
	連合農学研究科特別講義（ ）		



環境資源共生科学専攻



カリキュラム・マップ

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

カリキュラム・チャート

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		●		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		●		
	コミュニケーション演習（英語）		●		
	海外フィールド実習			●	●
	海外短期集中コース			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	インターンシップ			●	
	連合農学研究科特別講義（ ）				●
研究交流科目	森林資源物質科学合同セミナー	●			
	環境保全学合同セミナー	●			
専門分野科目	森林生産保全学特論	●			●
	森林バイオマス学特論	●			●
	資源物質科学特論	●			●
	資源保全学特論	●			●
	環境生態系保全学特論	●			●
	環境動物保全学特論	●			●
	環境植物保全学特論	●			●
	環境微生物保全学特論	●			●
論文・研究等	森林資源物質科学特別演習	●			
	森林資源物質科学特別研究	●			
	環境保全学特別演習	●			
	環境保全学特別研究	●			
外国人留学生 特別プログラム 科目	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	インターンシップ			●	

カリキュラム・フローチャート

観点	1 年次	2 年次	3 年次
A	森林生産保全学特論	森林資源物質科学合同セミナー	
	森林バイオマス学特論	環境保全学合同セミナー	
	資源物質科学特論		
	資源保全学特論		
	森林資源物質科学特別演習		
	森林資源物質科学特別研究		
	環境生態系保全学特論		
	環境動物保全学特論		
	環境植物保全学特論		
	環境微生物保全学特論		
環境保全学特別演習			
環境保全学特別研究			
B	グローバル特論Ⅰ		
	グローバル特論Ⅱ		
	グローバル特論Ⅲ		
	グローバル特論Ⅳ		
	グローバル特論Ⅴ		
B	総合農学概論Ⅰ（日本語）		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		
	コミュニケーション演習（英語）		
C	海外フィールド実習		
	海外短期集中コース		
	イノベーション推進特別講義Ⅰ		
	イノベーション推進特別講義Ⅱ		
	イノベーション推進特別講義Ⅲ		
	イノベーション推進特別講義Ⅳ		
	イノベーション推進特別講義Ⅴ		
インターンシップ			
D	海外フィールド実習		
	海外短期集中コース		
	イノベーション推進特別講義Ⅰ		
	イノベーション推進特別講義Ⅱ		
	イノベーション推進特別講義Ⅲ		
	イノベーション推進特別講義Ⅳ		
	イノベーション推進特別講義Ⅴ		
	森林生産保全学特論		
	森林バイオマス学特論		
	資源物質科学特論		
	資源保全学特論		
	環境生態系保全学特論		
	環境動物保全学特論		
	環境植物保全学特論		
	環境微生物保全学特論		
	グローバル特論Ⅰ		
	グローバル特論Ⅱ		
グローバル特論Ⅲ			
グローバル特論Ⅳ			
グローバル特論Ⅴ			
連合農学研究科特別講義（ ）			



農業環境工学専攻



カリキュラム・マップ

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

カリキュラム・チャート

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		●		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		●		
	コミュニケーション演習（英語）		●		
	海外フィールド実習			●	●
	海外短期集中コース			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	インターンシップ			●	
	連合農学研究科特別講義（ ）				●
研究交流科目	農業環境工学合同セミナー	●			
専門分野科目	生産基盤環境工学特論	●			●
	地域環境科学特論	●			●
	生産環境システム学特論	●			●
	生物環境制御学特論	●			●
論文・研究等	農業環境工学特別演習	●			
	農業環境工学特別研究	●			
外国人留学生 特別プログラム 科目	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	インターンシップ			●	

カリキュラム・フローチャート

観点	1 年次	2 年次	3 年次
A	生産基盤環境工学特論 地域環境科学特論 生産環境システム学特論 生物環境制御学特論 農業環境工学特別演習 農業環境工学特別研究	農業環境工学合同セミナー	
	グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ		
B	総合農学概論Ⅰ（日本語） 総合農学概論Ⅱ（英語） コミュニケーション演習（英語）		
C	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ インターンシップ		
D	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ		
	生産基盤環境工学特論 地域環境科学特論 生産環境システム学特論 生物環境制御学特論 グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ 連合農学研究科特別講義（ ）		



農林共生社会科学専攻



カリキュラム・マップ

本学科の教育理念に照らし、ディプロマ・ポリシーを達成するために、各授業科目とディプロマ・ポリシーの各観点が以下のような対応関係を持つカリキュラムを編成する。

カリキュラム・チャート

区分	授業科目	観点			
		A	B	C	D
研究科共通科目	総合農学概論Ⅰ（日本語）		●		
	総合農学概論Ⅱ（英語）		●		
	コミュニケーション演習（英語）		●		
	海外フィールド実習			●	●
	海外短期集中コース			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅰ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅱ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅲ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	インターンシップ			●	
	連合農学研究科特別講義（ ）				●
研究交流科目	農林共生社会科学合同セミナー	●			
専門分野科目	共生社会システム学特論	●			●
	農業経営経済学特論	●			●
	フードシステム学特論	●			●
	資源経済学特論	●			●
論文・研究等	農林共生社会科学特別演習	●			
	農林共生社会科学特別研究	●			
外国人留学生 特別プログラム 科目	グローバル特論Ⅰ	●			●
	グローバル特論Ⅱ	●			●
	グローバル特論Ⅲ	●			●
	グローバル特論Ⅳ	●			●
	グローバル特論Ⅴ	●			●
	イノベーション推進特別講義Ⅳ			●	●
	イノベーション推進特別講義Ⅴ			●	●
	インターンシップ			●	

カリキュラム・フローチャート

観点	1 年次	2 年次	3 年次
A	共生社会システム学特論 農業経営経済学特論 フードシステム学特論 資源経済学特論 農林共生社会科学特別演習 農林共生社会科学特別研究	農林共生社会科学合同セミナー	
	グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ		
B	総合農学概論Ⅰ（日本語） 総合農学概論Ⅱ（英語） コミュニケーション演習（英語）		
C	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ インターンシップ		
D	海外フィールド実習 海外短期集中コース イノベーション推進特別講義Ⅰ イノベーション推進特別講義Ⅱ イノベーション推進特別講義Ⅲ イノベーション推進特別講義Ⅳ イノベーション推進特別講義Ⅴ		
	共生社会システム学特論 農業経営経済学特論 フードシステム学特論 資源経済学特論 グローバル特論Ⅰ グローバル特論Ⅱ グローバル特論Ⅲ グローバル特論Ⅳ グローバル特論Ⅴ 連合農学研究科特別講義（ ）		



V 教育課程表

Curriculums

2025年度開講予定

専攻	大講座名	科目区分	科目名	単位数	開講予定							2年次	3年次
					1年次								
					前期	開講場所	担当教員	後期	開講場所	担当教員			
研究科共通科目			総合農学概論Ⅰ（日本語）	○ 1	2025.6.18～20 各大学多地点遠隔講義システム設置教室								
			総合農学概論Ⅱ（英語）	○ 1				2025.11.19～21 各大学多地点遠隔講義システム設置教室					
			コミュニケーション演習(英語)	1	各大学で開講								
			海外フィールド実習	1				●			●	●	
			海外短期集中コース	1				●			●	●	
			イノベーション推進特別講義Ⅰ	1				●			●	●	
			イノベーション推進特別講義Ⅱ	1				●			●	●	
			イノベーション推進特別講義Ⅲ	1				●			●	●	
			イノベーション推進特別講義Ⅳ	1				●			●	●	
			イノベーション推進特別講義Ⅴ	1				●			●	●	
			グローバル特論Ⅰ	0.5				●			●	●	
			グローバル特論Ⅱ	0.5				●			●	●	
			グローバル特論Ⅲ	0.5				●			●	●	
			グローバル特論Ⅳ	0.5				●			●	●	
			グローバル特論Ⅴ	0.5				●			●	●	
			インターンシップ	1				●			●	●	
			連合農学研究科特別講義（ ）	1				●			●	●	
生物生産科学	植物生産科学	研究交流科目	植物生産科学合同セミナー	◎ 0.5								●	
		専門分野科目	植物機能形態学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			植物生産生理学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			植物遺伝育種学特論	0.5	●	宇	山根				●		
			植物生産環境学特論	0.5				●	茨	佐藤	●		
	論文研究等	植物生産科学特別演習	◎ 2			●	通年						
		植物生産科学特別研究	◎ 6			●	通年						
	動物生産科学	研究交流科目	動物生産科学合同セミナー	◎ 0.5								●	
		専門分野科目	動物形態機能学特論	0.5	●	茨	上塚				●		
			動物栄養飼料科学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			動物育種繁殖学特論	0.5				●	東	杉村	●		
			動物衛生管理科学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
	論文研究等	動物生産科学特別演習	◎ 2			●	通年						
		動物生産科学特別研究	◎ 6			●	通年						
	生物制御科学	研究交流科目	生物制御科学合同セミナー	◎ 0.5								●	
		専門分野科目	応用昆虫学特論	0.5	●	東	本林				●		
			植物病理学特論	0.5				●	東	小松	●		
			昆虫生理生化学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			植物制御科学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			生物制御化学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
論文研究等		生物制御科学特別演習	◎ 2			●	通年						
		生物制御科学特別研究	◎ 6			●	通年						
応用生命科学	研究交流科目	応用生物化学合同セミナー	◎ 0.5								●		
	専門分野科目	分子生理学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆			
		先端生命科学特論	0.5				●	宇	飯郷	●			
		細胞工学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆			
		微生物利用学特論	0.5	●	宇	前田				●			
	論文研究等	応用生物化学特別演習	◎ 2			●	通年						
		応用生物化学特別研究	◎ 6			●	通年						

専攻	大講座名	科目区分	科目名	単位数	開講予定							2年次	3年次
					1年次								
					前期	開講場所	担当教員	後期	開講場所	担当教員			
応用生命科学	生物機能化学	研究交流科目	生物機能化学合同セミナー	◎ 0.5							●		
		専門分野科目	生体物質科学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			食品機能科学特論	0.5	●	東	服部				●		
			生物活性物質化学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			生体分子解析学特論	0.5				●	茨	鎗田	●		
		論文研究等	生物機能化学特別演習	◎ 2	● 通年								
生物機能化学特別研究	◎ 6		● 通年										
環境資源共生科学	森林資源物質科学	研究交流科目	森林資源物質科学合同セミナー	◎ 0.5							●		
		専門分野科目	森林生産保全学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			森林バイオマス学特論	0.5	●	宇	有賀				●		
			資源物質科学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			資源保全学特論	0.5				●	東	赤坂	●		
		論文研究等	森林資源物質科学特別演習	◎ 2	● 通年								
	森林資源物質科学特別研究		◎ 6	● 通年									
	環境保全学	研究交流科目	環境保全学合同セミナー	◎ 0.5							●		
		専門分野科目	環境生態系保全学特論	0.5				●	東	大地	●		
			環境動物保全学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			環境植物保全学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			環境微生物保全学特論	0.5	●	茨	成澤				●		
論文研究等		環境保全学特別演習	◎ 2	● 通年									
	環境保全学特別研究	◎ 6	● 通年										
農業環境工学	農業環境工学	研究交流科目	農業環境工学合同セミナー	◎ 0.5							●		
		専門分野科目	生産基盤環境工学特論	0.5	●	宇	田村（孝）				●		
			地域環境科学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			生産環境システム学特論	0.5				●	宇	田村（匡）	●		
			生物環境制御学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
		論文研究等	農業環境工学特別演習	◎ 2	● 通年								
農業環境工学特別研究	◎ 6		● 通年										
農林共生社会科学	農林共生社会科学	研究交流科目	農林共生社会科学合同セミナー	◎ 0.5							●		
		専門分野科目	共生社会システム学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			農業経営経済学特論	0.5	隔年開講（2026年度に開講）						☆		
			フードシステム学特論	0.5	●	宇	神代				●		
			資源経済学特論	0.5				●	東	竹本	●		
		論文研究等	農林共生社会科学特別演習	◎ 2	● 通年								
農林共生社会科学特別研究	◎ 6		● 通年										
外国人留学生 特別プログラム科目		グローバル特論Ⅰ	△ 0.5	●						●			
		グローバル特論Ⅱ	△ 0.5	●						●			
		グローバル特論Ⅲ	△ 0.5	●						●			
		グローバル特論Ⅳ	△ 0.5	●						●			
		グローバル特論Ⅴ	△ 0.5	●						●			
		イノベーション推進特別講義Ⅳ	△ 1	●						●			
		イノベーション推進特別講義Ⅴ	△ 1	●						●			
		インターンシップ	△ 1	●						●			

【開講場所】 東：東京農工大学、茨：茨城大学、宇：宇都宮大学、連携：連携研究機関

- ・修了要件は必修科目9.5単位及び選択科目2.5単位以上、あわせて12単位以上を取得すること。
- ・☆印の科目は隔年開講のため2025年度は開講されない
- ・単位数欄の○印の科目は選択必修科目とし、この中から1単位以上取得すること。◎印の科目は所属する大講座の必修科目。
- 無印の科目は選択科目で他専攻からも取得可能。
- ・単位数欄の△印は留学生特別プログラム学生の選択科目とし、この中から、インターンシップ、グローバル特論1科目以上を含めた2単位以上を修得すること。

2025 Curriculums for United Graduate School of Agricultural Science, Tokyo University of Agriculture and Technology (Doctoral Course)

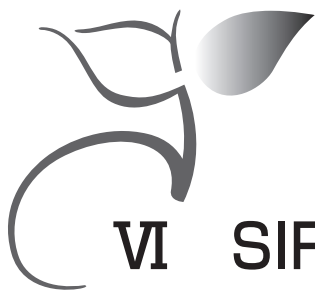
Department	Major Chair	Subject Category	Subjects	Required/ Elective	Credit	Class Schedule							
						The first grade						The second grade	The third grade
						Spring Semester	Location	Academic advisor	Fall Semester	Place	Academic advisor		
Common Subject			Comprehensive Agricultural Science I (in Japanese)	○	1	2025.6.18~20 held at each University							
			Comprehensive Agricultural Science II (in English)	○	1	2025.11.19~21 held at each university							
			English Seminar on Academic Communications (in English)		1	held at each university							
			Field research abroad		1				●			●	●
			Overseas intensive short-term course		1				●			●	●
			Special Lecture for Innovation Advancement I		1				●			●	●
			Special Lecture for Innovation Advancement II		1				●			●	●
			Special Lecture for Innovation Advancement III		1				●			●	●
			Special Lecture for Innovation Advancement IV		1				●			●	●
			Special Lecture for Innovation Advancement V		1				●			●	●
			Global Special Seminar I for International Students		0.5				●			●	●
			Global Special Seminar II for International Students		0.5				●			●	●
			Global Special Seminar III for International Students		0.5				●			●	●
			Global Special Seminar IV for International Students		0.5				●			●	●
			Global Special Seminar V for International Students		0.5				●			●	●
			Internship		0.5				●			●	●
			UGSAS Special Lecture ()		1				●			●	●
Biological Production Science	Plant Production Science	Joint Seminar	Joint Seminar on Plant Production	◎	0.5							●	
		Major Field	Advanced Plant Functional Morphology		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Plant Production Physiology		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Plant Genetics and Breeding		0.5	●	U	Yamane				●	
			Advanced Agro-environment Science		0.5				●	I	Sato	●	
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Plant Production	◎	2	Year-round							
			Advanced Research on Plant Production	◎	6	Year-round							
	Animal Production Science	Joint Seminar	Joint Seminar on Animal Production Science	◎	0.5							●	
		Major Field	Advanced Animal Function and Morphology		0.5	●	I	Uetsuka				●	
			Advanced Animal Nutrition and Feed Science		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Animal Breeding and Reproduction Science		0.5				●	T	Sugimura	●	
			Advanced Animal Hygiene and Management Science		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Animal Production Science	◎	2	Year-round							
			Advanced Research on Animal Production Science	◎	6	Year-round							
	Bioregulation Science	Joint Seminar	Joint Seminar on Bioregulation Science	◎	0.5							●	
		Major Field	Advanced Entomology		0.5	●	T	Motobayashi				●	
			Advanced Plant Pathology		0.5				●	T	Komatsu	●	
			Advanced Insect Physiology and Biochemistry		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Plant Regulation Science		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Bioregulation Chemistry		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Bioregulation Science	◎	2	Year-round							
			Advanced Research on Bioregulation Science	◎	6	Year-round							
Applied Life Science	Applied Biological Chemistry	Joint Seminar	Joint Seminar on Applied Biological Chemistry	◎	0.5							●	
		Major Field	Advanced Molecular Physiology		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Life Science		0.5				●	U	Iigo	●	
			Advanced Cellular Biotechnology		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Applied Microbiology		0.5	●	U	Maeda				●	
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Applied Biological Chemistry	◎	2	Year-round							
			Advanced Research on Applied Biological Chemistry	◎	6	Year-round							
	Biofunctional Chemistry	Joint Seminar	Joint Seminar on Biofunctional Chemistry	◎	0.5							●	
		Major Field	Advanced Biomaterial Chemistry		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Functional Food Science		0.5	●	T	Hattori				●	
			Advanced Bioactive Material Chemistry		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆	
			Advanced Biomolecule Analysis		0.5				●	I	Yarita	●	
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Biofunctional Chemistry	◎	2	Year-round							
			Advanced Research on Biofunctional Chemistry	◎	6	Year-round							

Department	Major Chair	Subject Category	Subjects	Required/ Elective	Credit	Class Schedule								
						The first grade						The second grade	The third grade	
						Spring Semester	Location	Academic advisor	Fall Semester	Place	Academic advisor			
Symbiotic Science of Environment and Natural Resources	Science of Forest Resources and Ecomaterials	Joint Seminar	Joint Seminar on Science of Forest Resources and Ecomaterials	◎	0.5								●	
		Major Field	Advanced Forest Science and Technology		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
			Advanced Forest Biomass		0.5	●	U	Aruga				●		
			Advanced Natural Resources and Ecomaterials		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
			Advanced Conservation of Natural Resources		0.5				●	T	Akasaka	●		
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Science of Forest Resources and Ecomaterials	◎	2	Year-round								
			Advanced Research on Science of Forest Resources and Ecomaterials	◎	6	Year-round								
Symbiotic Science of Environment and Natural Resources	Environmental Conservation	Joint Seminar	Joint Seminar on Environmental Conservation	◎	0.5								●	
		Major Field	Advanced Ecosystem Conservation		0.5				●	T	Ohji	●		
			Advanced Animal Science for Environmental Conservation		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
			Advanced Plant Science for Environmental Conservation		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
			Advanced Microbiology for Environmental Conservation		0.5	●	I	Narisawa				●		
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Environmental Conservation	◎	2	Year-round								
			Advanced Research on Environmental Conservation	◎	6	Year-round								
Agricultural and Environmental Engineering	Agricultural and Environmental Engineering	Joint Seminar	Joint Seminar on Agricultural and Environmental Engineering	◎	0.5								●	
		Major Field	Advanced Infrastructural and Environmental Engineering		0.5	●	U	Tamura,T					●	
			Advanced Rural Environmental Science		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
			Advanced Production and Environmental Systems		0.5				●	U	Tamura,M	●		
			Advanced Bio-environmental Control		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Agricultural and Environmental Engineering	◎	2	Year-round								
			Advanced Research on Agricultural and Environmental Engineering	◎	6	Year-round								
Science on Agricultural Economy and Symbiotic Society	Science on Agricultural Economy and Symbiotic Society	Joint Seminar	Joint Seminar on Agricultural Economy and Symbiotic Society	◎	0.5								●	
		Major Field	Advanced Symbiotic Social System		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
			Advanced Management and Economics of Agriculture		0.5	Lectures to be held in the academic year 2026 (Biennial Class)						☆		
			Advanced Food System		0.5	●	U	Jindai				●		
			Advanced Resource Economics		0.5				●	T	Takemoto	●		
		Research and Seminar	Advanced Seminar on Agricultural Economy and Symbiotic Society	◎	2	Year-round								
			Advanced Research on Agricultural Economy and Symbiotic Society	◎	6	Year-round								
Special Program Subjects for International Students on the special program			Global Special Seminar I for International Students	△	0.5				●				●	
			Global Special Seminar II for International Students	△	0.5				●				●	
			Global Special Seminar III for International Students	△	0.5				●				●	
			Global Special Seminar IV for International Students	△	0.5				●				●	
			Global Special Seminar V for International Students	△	0.5				●				●	
			Special Lecture for Innovation Advancement IV	△	1				●				●	●
			Special Lecture for Innovation Advancement V	△	1				●				●	●
			Internship	△	1				●				●	●

【Place】 T : Tokyo University of Agriculture and Technology, I : Ibaraki University, U : Utsunomiya University
CO : Graduate school in cooperation with other institutes

Note :

- Student must acquire at least 12 credits from Required Subjects (at least 9.5 credits) and from Elective Subjects (at least 2.5 credits).
- Subjects marked "☆" are classes held biennially, thus it will not be held in the year 2025.
- "O" are required subjects. Student must acquire 1 or more credit from these subjects.
- "◎" are the required subjects of your belonging Major Chair.
- Subjects with no mark are elective subjects. All students can take these subjects.
- "△" are required subjects for international students on the Special Program. International student of the Special Program must acquire 2 or more credits including Internship and 1 of Global special seminars.
- International students on the special program must take Global special seminar which supervisor is a lecturer.



VI SIRIUS 東京農工大学 全学教育システム

SIRIUS TUAT Student Information System

SIRIUS は、インターネットを通じて履修登録・成績照会などが可能なサービスです。SIRIUS で利用可能なサービスは次のとおりです。

- | | | | |
|---------|---------|-------|------------|
| ・履修登録 | ・シラバス検索 | ・成績照会 | ・各種お知らせの確認 |
| ・学籍情報照会 | ・掲示板 | ・各種申請 | |

履修登録は、一部の科目を除き SIRIUS を利用して行うことになっています。
以下の URL からアクセス方法や操作方法をあらかじめよく確認してください。
https://www.tuat.ac.jp/campuslife_career/sirius/index.html



SIRIUS へログインする際は、東京農工大学の認証が求められます。
初回ログイン前に必ずアカウント（TUAT-ID）の初期設定を行ってください。

SIRIUS is Internet service allows students to register for courses and check grades etc.
The services available on SIRIUS are as follows

- | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------|
| ・ Course Registration | ・ Syllabus Search | ・ Grade Inquiry |
| ・ Confirmation of various notices | ・ Inquiry of student information | |
| ・ Bulletin Board | ・ Application | |

Course registration is to be done using SIRIUS, except for some courses.
Please confirm the access and operation method from the following QR code in advance.



When you log in SIRIUS, certification from TUAT is required.
Please make sure to initialize your account (TUAT-ID) before log in for the first time.

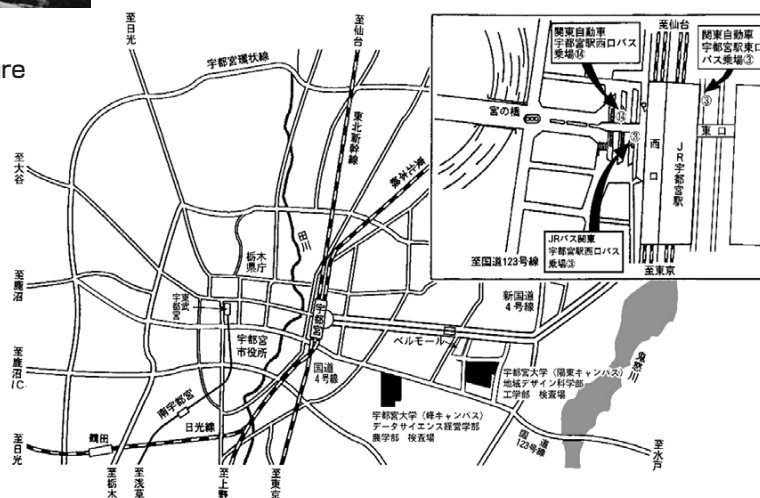
Map of Cooperating Universities



Ibaraki University, Faculty of Agriculture
〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-21-1
3-21-1, Chuou, Ami-machi, Inashiki-gun, Ibaraki,
300-0393 Japan
TEL 029-887-1261/FAX 029-888-8525



Utsunomiya University, School of Agriculture
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
350, Mine-machi, Utsunomiya-shi, Tochigi,
321-8505 Japan
TEL 028-649-5398/FAX 028-649-5171





東京農工大学農学部

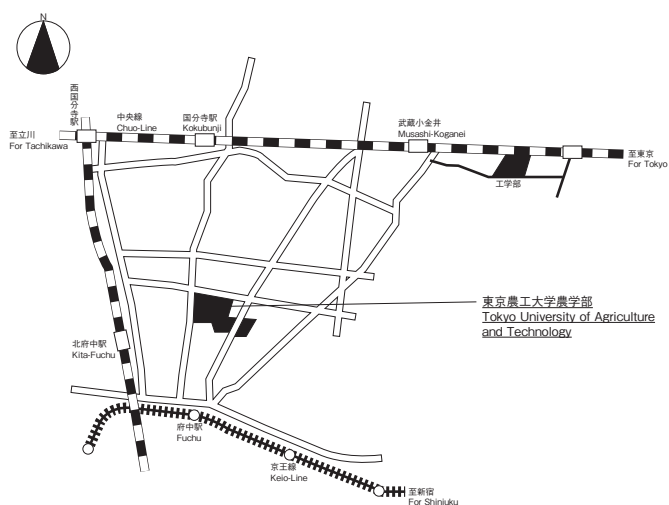
Tokyo University of Agriculture and Technology,
Faculty of Agriculture

〒183-8509 東京都府中市幸町 3 - 5 - 8

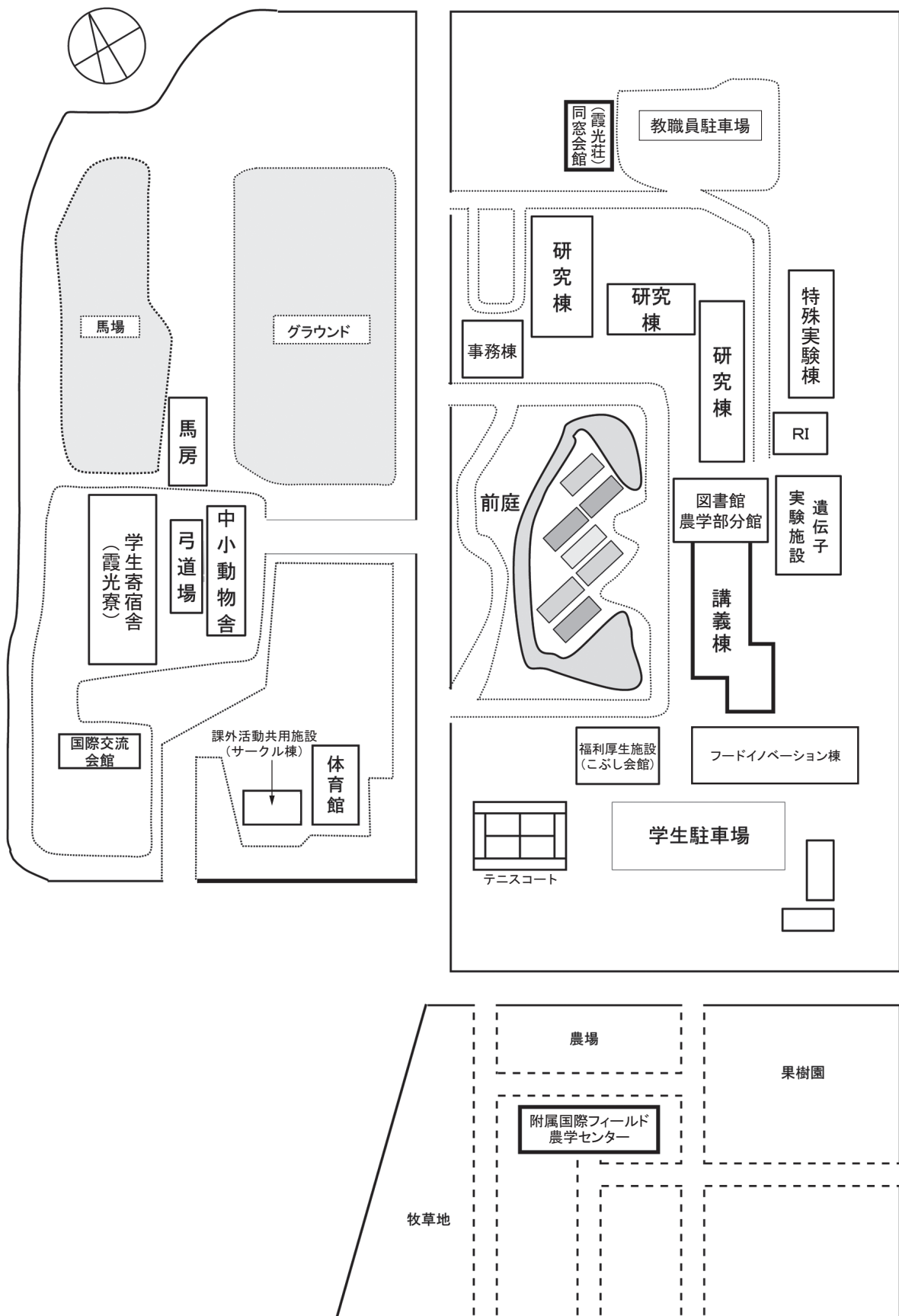
3-5-8, Saiwai-cho, Fuchu-shi, Tokyo,

183-8509 Japan

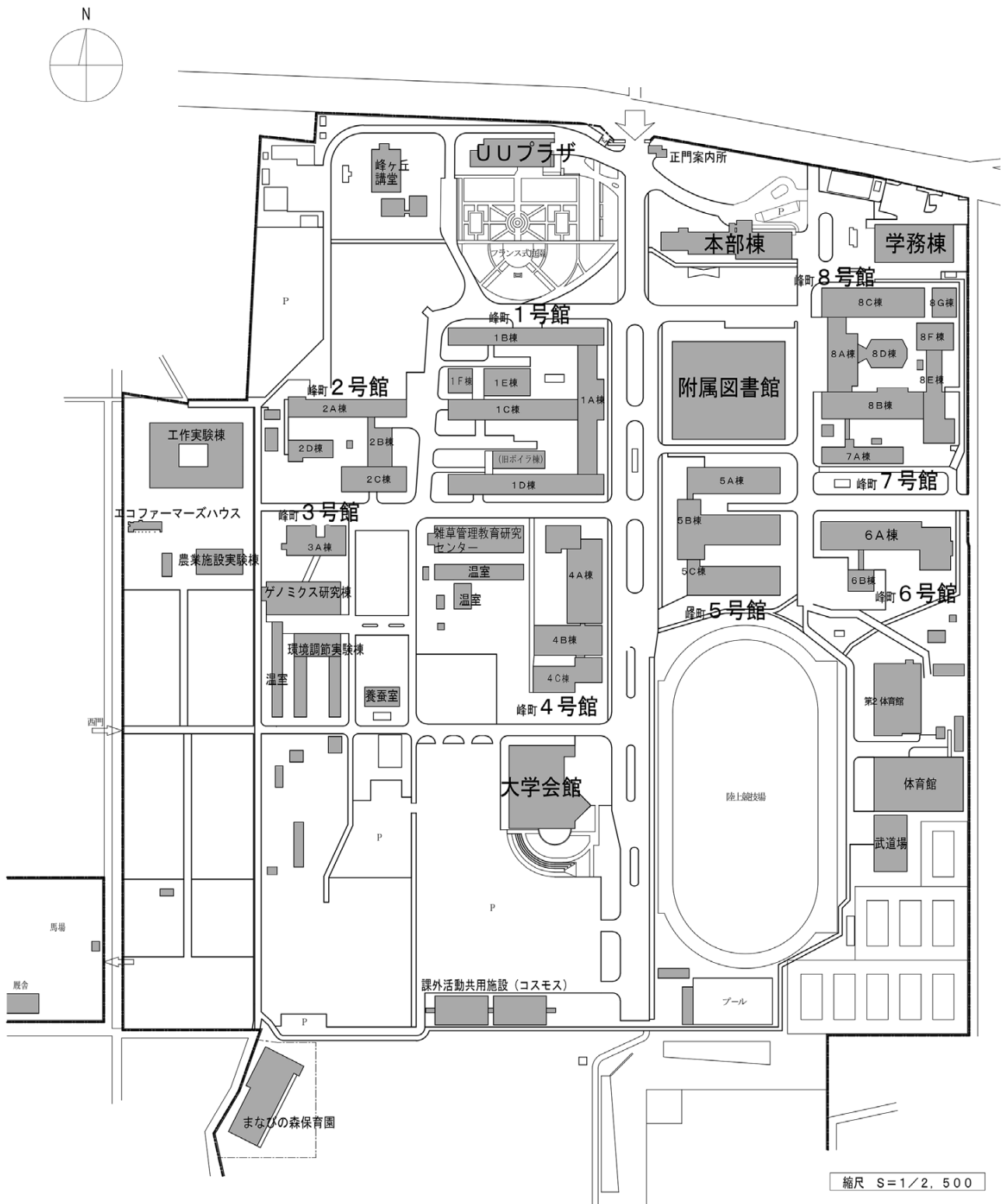
TEL 042-367-5655 / FAX 042-360-8830



茨城大学 阿見キャンパス配置図

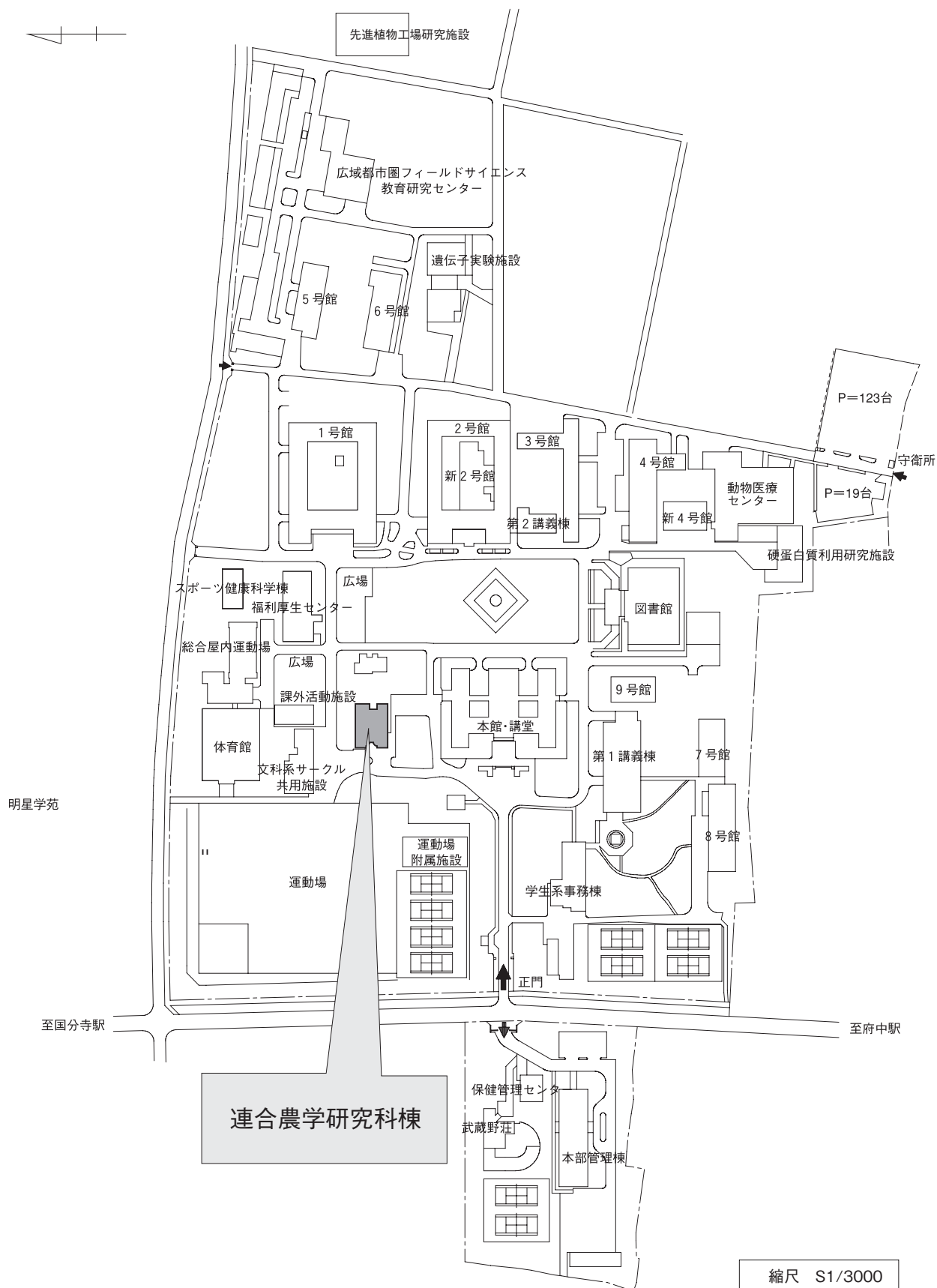


宇都宮大学 峰キャンパス配置図



※学務部、ミニストップ、郵便局は学務棟にあります。

東京農工大学 府中キャンパス配置図





東京農工大学大学院連合農学研究科